

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主総会等の基準日	(1)定時株主総会 3月31日 (2)その他の基準日 前項のほか必要あるときは取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所 公告方法	東京証券取引所 市場第二部 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ホームページ <a href="http://www.mansei.co.jp/">http://www.mansei.co.jp/</a>

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ●期末配当金について

普通配当1株につき9円	(ご参考)	中間配当金	期末配当金	年間配当金
		1株につき9円	1株につき9円	1株につき18円



### ホームページのご案内

下記のホームページに株主・投資家の皆様向けのIR情報を掲載しております。最新の会社業績をはじめとするさまざまな情報をご案内しておりますので、どうぞご利用ください。

<http://www.mansei.co.jp/>



# 第71期 年次報告書

平成28年4月 1日から  
平成29年3月31日まで

# これからも『技術商社として、 お客様のベストパートナーであり続け、 ともに成長する』企業を目指します。

## ごあいさつ



取締役社長  
占部正浩

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第71期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の年次報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当期における日本経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が持ち直すなど、緩やかな回復基調となりました。このような状況の中、当社グループは引き続き既存顧客との関係強化、新規顧客の開拓、取扱商材の拡大に注力し、『技術商社として、お客様のベストパートナーであり続け、ともに成長する』企業を目指し、収益性を伴った企業価値の向上に努めています。今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(平成29年6月)



## 第71期の市場環境と業績について お聞かせください。

当期における日本経済は、英国のEU離脱問題や米国新政権の動向など先行き不透明感が高まる中、年度後半には円高が一巡し海外経済の回復に伴う企業収益の改善を背景に設備投資が持ち直すなど、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループの関連する業界につきましては、国内生産設備投資計画は上向きの動きがみられましたが、実施時期については慎重姿勢が続きました。

このような状況の中、当社グループは既存顧客との関係強化、新規顧客の開拓、取扱商材の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当期の業績は売上高213億92百万円(前期比0.1%減)、営業利益5億13百万円(同比2.8%減)、経常利益5億17百万円(同比1.1%減)、投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより親会社株主に帰属する当期純利益3億42百万円(同比9.6%増)となりました。



## セグメントごとの成果は どのようになりましたか。

電気機器・産業用システムでは、電気機器につきましては、配電制御機器は減少しましたが、機械装置向けにFA機器が増加しました。産業用システムにつきましては、重電機器等の大口案件により増加しました。この結果、部門全体では売上高115億28百万円(前期比3.6%増)となりました。

電子デバイス・情報通信機器では、電子デバイスにつきましては、パワー半導体が減少しました。情報通信機器につきましては、パソコン及び周辺機器が増加しました。この結果、部門全体では売上高54億44百万円(前期比6.8%減)となりました。

設備機器につきましては、空調冷熱設備や照明設備の更新需要は拡大しましたが、太陽光発電関連案件の剥落により減少しました。この結果、部門全体では売上高43億15百万円(前期比0.4%減)となりました。

太陽光発電につきましては、概ね想定どおりに発電し、売上高1億4百万円(前期比6.1%減)となりました。



## 中長期的な経営戦略についてお聞かせ ください。

当社グループは、「技術商社として、お客様のベストパートナーであり続け、ともに成長する」を経営ビジョンとし、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のために、経営戦略として収益基盤の強化・拡大と人材育成に重点を置いています。収益基盤の強化・拡大については、既存顧客との関係強化、新規顧客の開拓、取扱商材の拡大に注力いたします。また、香港・上海の両現地法人と連携し、成長力の高いアジア市場の需要掘り起こしに取り組みます。

人材育成については、「顧客起点」を念頭に、社員一人ひとりの

実行力、実現力を高めることで組織の活性化を図り、目的意識と責任感を持ち仕事を進めていける自律した人材の育成に取り組みます。



## 次期(第72期)の注力施策と業績予測 をお聞かせください。

新興国・資源国の経済減速や不安定な為替・株式相場に対する懸念はありますが、企業収益の改善に伴う設備投資の持ち直しなどから、次期の日本経済は引き続き緩やかな回復基調で推移することが予想されます。このような状況の中、当社グループは既存顧客との関係強化、新規顧客の開拓、取扱商材の拡大に努めてまいります。

また次期の業績につきましては、売上高220億円(前期比2.8%増)、営業利益5億80百万円(同比13.0%増)、経常利益5億80百万円(同比12.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億50百万円(同比2.2%増)を見込んでおります。

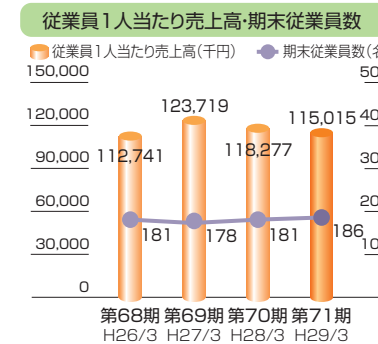
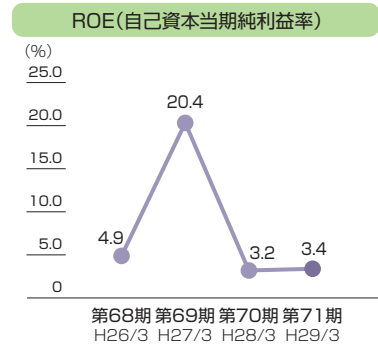
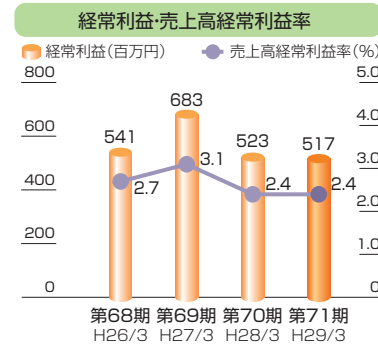
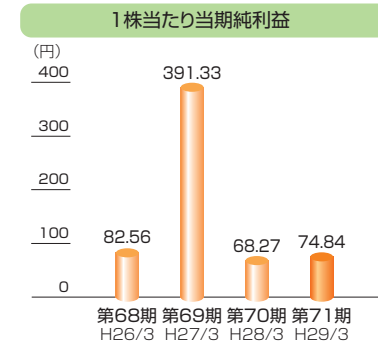
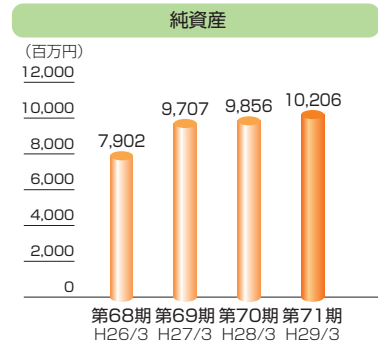
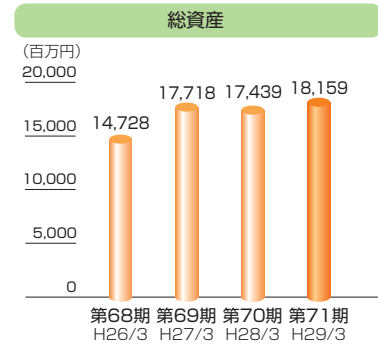
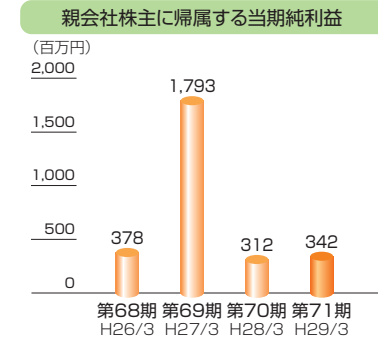
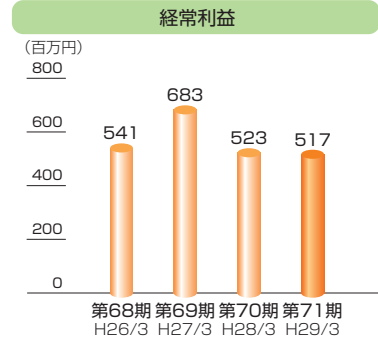
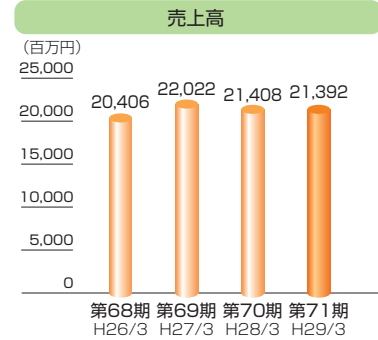


## 株主の皆様へのメッセージを お願いいたします。

当社では、利益の還元・配分につきましては、株主の皆様を含むすべてのステークホルダーの総合的な利益向上を図ることを最重要課題ととらえ、継続的に安定した配当を実施することを基本方針としております。

第71期の期末配当金につきましては、1株当たり9円とさせていただきます。中間配当金1株当たり9円と合わせて、年間で1株当たり18円とさせていただきます。

当社グループは、将来の事業展開や経済環境の変化に備えるための内部留保を充実し、今後も収益性を伴った企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様には、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 電気機器・産業用システム



電気機器につきましては、配電制御機器は減少しましたが、機械装置向けにFA機器が増加しました。産業用システムにつきましては、重電機器等の大口案件により増加しました。  
この結果、部門全体では売上高115億28百万円(前期比3.6%増)となりました。

### 電子デバイス・情報通信機器



電子デバイスにつきましては、パワー半導体が減少しました。情報通信機器につきましては、パソコン及び周辺機器が増加しました。  
この結果、部門全体では売上高54億44百万円(前期比6.8%減)となりました。

### 設備機器



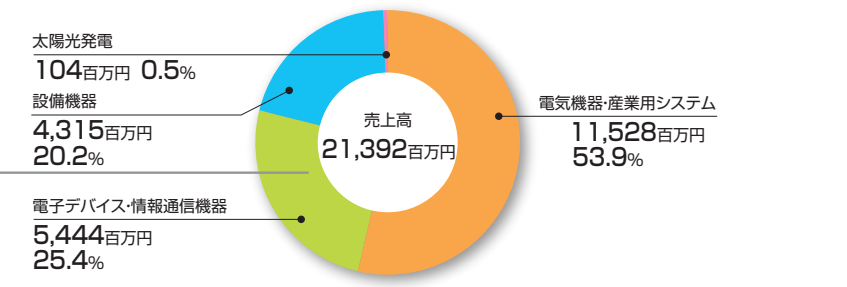
設備機器につきましては、空調冷熱設備や照明設備の更新需要は拡大しましたが、太陽光発電関連案件の剥落により減少しました。  
この結果、部門全体では売上高43億15百万円(前期比0.4%減)となりました。

### 太陽光発電



太陽光発電につきましては、概ね想定どおりに発電し売上高1億4百万円(前期比6.1%減)となりました。

### セグメント別売上高構成比



# あらゆる場所で貢献する多彩なテクノロジー

萬世電機は、高度な情報化社会と地球環境に調和した製品を幅広く取り扱う技術商社です。  
国内のみならず、経済成長著しいアジア市場へも展開していきます。  
高度なテクノロジーが、多彩なフィールドで息づいています。

## FA機器事業

ACサーボやインバータなどの駆動制御機器、シーケンサなどのコントローラ機器、遮断器や変圧器などの配電機器、モートルや産業扇などの回転機器を、システムコンサルティングの視点から捉えて提案します。

**製品**

- 駆動(ACサーボ/モータ)
- 制御(表示器/各種センサー/省配線)
- 配電制御(ブレーカ/管理・計測機器/高効率トランス)
- 安心・安全対策(UPS/瞬低・短時間停電補償装置)
- トレーサビリティ(バーコードリーダ)
- 搬送・組立(ロボット)

● インバータ



● シーケンサ

## デジタル・映像事業

情報通信システムの構築や、ディスプレイによるビジュアルコミュニケーション、そして、これらに付随する情報保護・セキュリティ対策。システムの導入立案、設備工事から開発・導入支援、サポートまでをトータルでお客様のニーズに合わせて最適な製品やシステムをご提案し、円滑なネットワークの構築と確実かつ広域な情報発信のお手伝いをいたします。

**製品**

- タブレット、モバイルPC
- サイネージ
- FAパネル
- タッチパネル
- マザーボード
- プリンター
- プロジェクター
- ウェアラブル



● マルチ画面

● 昇華型プリンター

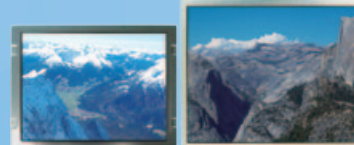


## 半導体事業

市場ニーズにお応えすべく、規格品からカスタム製品まで国内及び海外製の半導体・デバイス製品を取り扱っています。また、それに関連するシステム開発、ソフト開発やEMS事業(電子機器の受託生産サービス)なども推進しています。

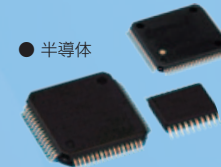
**製品**

- 半導体(マイコン/メモリ)
- 表示機器(カラーTN/TFT液晶モジュール)
- 電源周辺機器(ハイブリッドIC/電源IC/パワーデバイス)
- 組込デバイス(ストレージ/パネルコンピュータ/操作パネル/ノイズ対策品)
- 海外商材(スイッチ/LED/ダイオード)



● 表示機器

● 半導体



## 産業プラント事業

生産設備や諸システムの保全・IT化の対応に加え、豊富な実績と最先端の技術を駆使し、電源から生産プロセスまでの先進的なソリューションをご提案、サポートします。

**製品**

- 受変電設備
- 特別高圧・高圧・低圧配電盤
- 発電設備
- 太陽光・風力発電システム
- 電源ソリューション
- 瞬停・停電補償装置
- 稼働管理・出入庫管理システム
- 製造管理・トレーサビリティシステム



● 自動倉庫管理システム

## ファシリティ事業

エコをテーマにビルや商業施設、工場などが構成するあらゆる住環境施設を設計・施工・アフターサービスまでトータルにサポートします。

**製品**

- エレベーター・エスカレーター
- LED照明
- 太陽光発電システム
- ロスナイ(換気扇)
- 冷凍・冷蔵クーリングユニット
- エアー搬送ファン
- 植物工場
- リーフラボ(植物栽培ケース)



● 空冷式チラー



● 設備用パッケージエアコン

●連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期	科目	当期	前期
	平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在		平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	14,852,560	14,113,345	流動負債	7,076,367	6,695,481
現金及び預金	5,565,240	4,599,462	支払手形及び買掛金	5,870,368	5,820,581
受取手形及び売掛金	8,175,351	8,217,656	短期借入金	381,676	350,000
有価証券	—	132,659	未払法人税等	179,488	46,157
商品	776,997	698,285	賞与引当金	152,215	145,129
繰延税金資産	83,966	62,067	役員賞与引当金	28,882	30,380
未収入金	228,013	260,895	その他	463,736	303,233
その他	27,074	146,420	固定負債	876,668	887,024
貸倒引当金	△4,083	△4,101	繰延税金負債	578,929	573,044
固定資産	3,306,627	3,326,100	役員退職慰労引当金	106,200	93,700
有形固定資産	2,350,787	2,458,746	退職給付に係る負債	53,528	83,547
建物及び構築物	1,616,625	1,676,596	資産除去債務	65,410	64,636
機械及び装置	599,309	642,810	その他	72,600	72,095
土地	113,613	113,613	<b>負債合計</b>	<b>7,953,036</b>	<b>7,582,506</b>
建設仮勘定	471	—	<b>(純資産の部)</b>		
その他	20,768	25,726	株主資本	9,922,070	9,661,845
無形固定資産	50,054	57,867	資本金	1,005,000	1,005,000
投資その他の資産	905,784	809,486	資本剰余金	838,560	838,560
投資有価証券	794,066	685,009	利益剰余金	8,092,476	7,832,251
その他	127,958	141,424	自己株式	△13,965	△13,965
貸倒引当金	△16,240	△16,947	その他の包括利益累計額	284,080	195,093
<b>資産合計</b>	<b>18,159,187</b>	<b>17,439,445</b>	その他有価証券評価差額金	274,057	192,290
			為替換算調整勘定	△422	1,409
			退職給付に係る調整累計額	10,444	1,394
			<b>純資産合計</b>	<b>10,206,150</b>	<b>9,856,939</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>18,159,187</b>	<b>17,439,445</b>

POINT 連結貸借対照表のポイント

流動資産は前期末比7億39百万円増の148億52百万円となりました。これは主に有価証券が1億32百万円減少しましたが、現金及び預金が9億65百万円増加したことによるものです。  
 固定資産は同比19百万円減の33億6百万円となりました。  
 流動負債は同比3億80百万円増の70億76百万円となりました。これは主に未払法人税等が1億33百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が1億30百万円増加したことによるものです。

固定負債は同比10百万円減の8億76百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金は12百万円増加しましたが、退職給付に係る負債が30百万円減少したことによるものです。  
 純資産合計は同比3億49百万円増の102億6百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億60百万円、その他有価証券評価差額金が81百万円増加したことによるものです。

●連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
売上高	21,392,965	21,408,219
売上原価	18,647,182	18,606,729
売上総利益	2,745,782	2,801,489
販売費及び一般管理費	2,232,604	2,273,596
営業利益	513,178	527,893
営業外収益	30,389	30,130
受取利息	2,867	4,377
受取配当金	14,437	13,785
社宅家賃収入	4,772	3,739
投資事業組合運用益	—	5,075
その他	8,313	3,151
営業外費用	25,992	34,846
支払利息	2,194	2,491
売上割引	14,617	15,066
支払手数料	2,000	2,000
為替差損	4,236	11,553
その他	2,944	3,734
経常利益	517,575	523,177
特別利益	32,698	6,988
投資有価証券償還益	—	6,988
投資有価証券売却益	32,698	—
特別損失	10,689	524
固定資産除却損	0	524
投資事業組合清算損	10,689	—
税金等調整前当期純利益	539,584	529,642
法人税、住民税及び事業税	251,839	190,095
法人税等調整額	△54,880	26,976
法人税等合計	196,959	217,072
当期純利益	342,625	312,570
親会社株主に帰属する当期純利益	342,625	312,570

POINT 連結損益計算書のポイント

売上高は前期比0.1%減の213億92百万円、営業利益は同比2.8%減の5億13百万円、経常利益は同比1.1%減の5億17百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券売却益を特別利益に計上したことにより同比9.6%増の3億42百万円となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	887,797	146,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	131,557	65,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,724	△88,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,852	△6,283
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	965,778	117,367
現金及び現金同等物の期首残高	2,599,462	2,482,094
現金及び現金同等物の期末残高	3,565,240	2,599,462

POINT 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前期末比9億65百万円増の35億65百万円となりました。  
 営業活動により得られた資金は8億87百万円(前期は1億46百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益を5億39百万円計上したことに加え、売上債権の減少により資金が1億28百万円増加したことによるものです。  
 投資活動により得られた資金は1億31百万円(前期は65百万円の獲得)となりました。これは主に投資有価証券の償還により資金が1億円増加したことによるものです。  
 財務活動により使用した資金は50百万円(前期は88百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

会社の概要 (平成29年3月31日現在)

社名 萬世電機株式会社  
(英文社名 MANSEI CORPORATION)  
 設立年月日 昭和22年5月29日  
 資本金 10億5百万円  
 従業員 186名(連結)  
 事業所 本社 〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目15番5号  
 神戸支店 〒652-0874 神戸市兵庫区高松町2番3号  
 東京支店 〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目17番9号  
 TCUビル7階  
 子会社 萬世電機香港有限公司  
 万世電機貿易(上海)有限公司  
 日本原ソーラーエナジー株式会社

役員 (平成29年6月29日現在)

代表取締役 占部 正浩  
 取締役社長 取締役相談役 占部 嘉英  
 専務取締役 村山 憲司  
 社外取締役 平井出 浩志  
 常務取締役 奥田 弘志  
 常勤監査役 多田 典康  
 常務取締役 松岡 直樹  
 社外監査役 谷間 高  
 取締役 郡山 公秀  
 社外監査役 宮岸 昌光  
 取締役 伊藤 弘行  
 取締役 白川 勝三

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

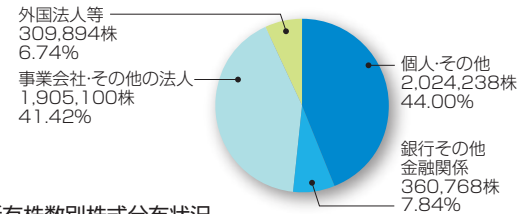
発行可能株式総数 ..... 16,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 4,600,000株  
 株主数 ..... 527名  
 単元株式数 ..... 1,000株

大株主(上位10名)

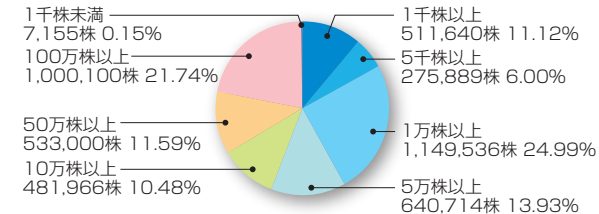
株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	1,000 (千株)	21.84 (%)
日光産業株式会社	533	11.64
萬世電機従業員持株会	151	3.31
株式会社サンセイテクノス	120	2.62
株式会社三菱東京UFJ銀行	110	2.40
東洋電機製造株式会社	100	2.18
占部正浩	94	2.05
インタラクティブブローカーズ エルエルシー	88	1.93
小林 茂	86	1.87
占部嘉英	78	1.70

(注)持株比率は自己株式(22,181株)を控除して計算しております。

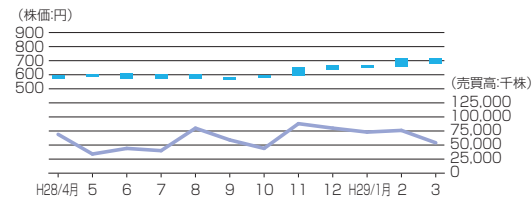
所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株価及び売買高の推移



TOPICS

河川清掃活動『大阪アドプト・リバー・プログラム』に参加いたしました

当社では、地域社会への貢献活動の一環として、大阪府が推進する河川清掃活動『大阪アドプト・リバー・プログラム』に参加し、大阪本社周辺の堂島川遊歩道の清掃活動を実施しております。

また、平成17年より活動しております大阪市一斉清掃『大阪マラソン“クリーンUP”作戦』では、大阪本社周辺道路の清掃活動を実施し、周辺地域の環境保全・美化に取り組んでおります。

今後も継続的な活動を通じて、地域社会への貢献、環境保全並びに社員の意識向上に努めてまいります。

